

2012年度 アニュアルレポート



2012年度も無事、無事故で安心・安全の病児保育を徹底できました。
会員のみなさまのご協力、また日々徹底しているスタッフたちに感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、本日はここで、1年間ずっと感じ続けてきた「違和感」のお話をしたいと思います。

正直なお話をすると、
「病児保育を提供するだけならもうノーベルを辞めてしまいたい。」とずっと思っていました。

親御さんから長時間労働・職場の理解のなさなど、不安な声を聞けば聞くほど、
どれだけ子どもに優しくないと社会なのかと悲しくなり、
また、病児保育を通して、子育てと仕事の両立をサポートするということは、
普通に働いている人以上に働かなければいけないことに葛藤していました。

2012年度、ノーベルでは
あるスタッフが介護で退職をせざるを得なくなり、
また、妊娠・出産して復帰するけれど、保育の仕事には戻れないスタッフがでてきました。

ノーベルを立ち上げてから休まずにがむしゃらに進んできた私も
疲弊しているスタッフたちを見て、一旦ストップして考える必要がありました。

本来目指している「子どもを産んでも働き続けられる社会」とはどんな社会なんだろうか。

考えて、でてきた答えは
「仕事は人生の一部であり、プライベートと分けることなんてできない。
でも、家族や健康なカラダあってこそその仕事。
家族や身近な大切にしたい人を大切にして、健康があってこそその仕事。」でした。

そうであれば、すぐに見直し、改善していこうと思い、この1年間は組織の働き方の見直しに力を入れました。
家族、友達、仲間を大切にできる組織でありたいと思っています。

みなさんにとって働くとは何ですか？
「子どもを産んでも働き続けられる社会」とはどんな社会ですか？

わたしは病児保育を提供しているだけでは、根本の問題解決はできないと思っています。
本来あるべき姿、また今の現状をどうしていくのかをみなさま自身にも考えていただきたいと思いました。

誰かが困っていたら助け合うことが当たり前の世の中で、
その1つ1つの重なりが豊かな心を生み出し、社会全体で子育てをする社会へと導くのではないのでしょうか。

2013年度は個人や地域、企業、行政、社会全体に対して、こういった疑問を投げかけていく活動にも
力を入れていきたいと思っています。

それでは、2013年度もノーベルをどうぞよろしく申し上げます。

NPO法人ノーベル 代表理事 高 亜希



contents	02	代表からのごあいさつ	10	管理本部
	03	ノーベルの目指す社会	11	会計報告
	04	病児保育事業	12	ご支援のお願い
	06	病児保育事業 — 新規プロジェクト編 —	14	2013年度の目標
	08	ソーシャルプロモーション事業	15	組織概要

私たちノーベルは下記のように、ビジョン・団体理念を掲げ、活動しています。

ビジョン

子どもを産んでも当たり前前に働き続けられる社会

事業内容

子どもの急な発熱にも100%対応！

病児保育事業

（子育てと仕事の両立に必要な支援は？という質問に対して7割の方が『子どもが病気のときの対応』を答えます。ノーベルでは子どもが病気の時働く親御さんの代わりにお子さんのお家で預かりする訪問型病児保育を行なっています。）

社会の価値観を変える！

ソーシャルプロモーション事業

（メディアや講演、「働く!!おかん図鑑」情報冊子の販売等を通して、現在の子育て支援の現状を発信し、知った人が行動にうつし、いくつもの助け合いを生み出し、子どもを産んでも当たり前前に働き続けられるという新たな社会の価値観を創造します。）

団体理念

人と人が助け合う仕組みを作り世の中を変える

病児保育憲章

1. ノーベルは子どもが熱を出すことを「**当たり前のこと**」と考えます。
2. ノーベルは、子どもを熱を出すことを強いからだを作るために「**必要なこと**」だと考えます。
3. ノーベルは、子どもを熱を出すことを親にふりかかる災難ではなく、支援によって地域が結びつく「**大いなる恵み**」だと考えます。
4. ノーベルは、病児保育問題を「子育てと仕事の両立可能な日本」の実現を阻む**象徴的な問題**と考えます。
5. ノーベルは、病児保育問題の解決を子育てと仕事の両立可能な日本への、**変革の連鎖を引き起こす絶好の機会**だと考えます。

事業開始3年目の2012年度は利用会員数・保育出動数は前年比の約2倍に増加しました。様々な保育のケースに対して、会員様のお声に耳を傾け、改善を重ね、12年度も会員満足度95%(右頁参照)の目標を達成しました。

提供エリア

初の大阪市外展開 吹田市南部エリアへ拡大

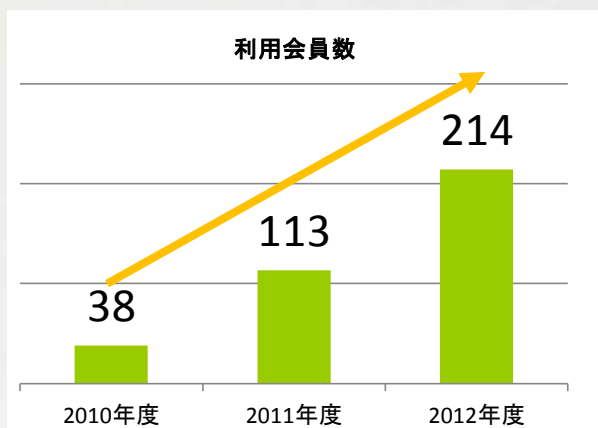
2013年1月より吹田市南部エリアへ提供エリアをひろげました。10年サービス開始当初より100名を超える吹田市民の方からの利用希望のお声にやっとお応えできることとなりました。スタッフ採用を進め、さらにエリア外からのお声に対応していきたいと思えます。



利用会員数

昨年度の約2倍となる 214人のお子さんの家庭をサポート

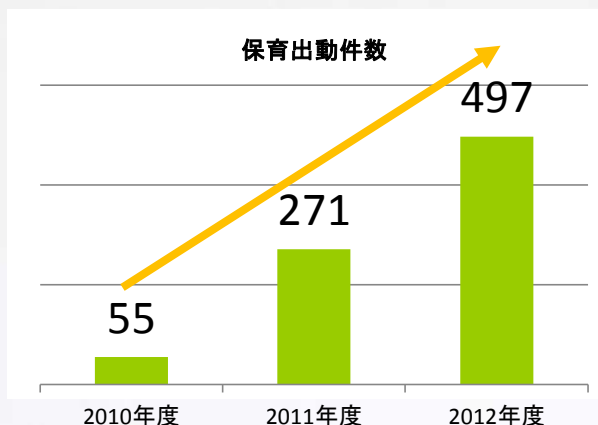
会員数は11年度に比べ約2倍の伸びとなりました。しかし大阪北・北摂エリアでの保育スタッフ採用が思うように進まず、利用希望のお問合せが多かった吹田市北部へのエリア拡大までには至りませんでした。採用強化、そして内部業務の効率化で体制を整え、スムーズにご入会して頂けるよう努めます。



保育出動件数

年間約500件の出動を重ね、 様々なケースへの対応を仕組み化

会員数が増え、お子さまの病状、保育環境などすべてにおいて新たな経験を積む1年となりました。親御様のお声に耳を傾け、「安心・安全の病児保育を徹底する」という基準で、ルールを作り、保育スタッフへのケース共有を徹底しました。結果、12年度も無事故で無事終えることができました。



スタッフ育成

会員数増加に伴い、正社員5名採用 スキルアップの研修も定期開催

12年度は正社員を含めたスタッフ採用を強化し、エリア内利用希望のお問合せに対応できる基盤を整えました。スタッフが増えても保育の質を向上させていくため、例年の小児救急講習のほか、毎月のケース会議においては、「薬を嫌がる子どもへの対処法」等、病児保育特有のテーマで研修を重ねました。



会員満足度

保育後アンケートによる 保育満足度 95%の目標を達成

ノーベルではお預かり1件につき、会員の皆さまから病児保育後にアンケートをお願いしております。アンケートの評価基準は5段階と下記の通りです。

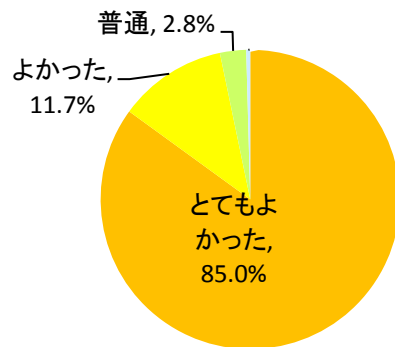
- (1) とてもよかった
- (2) よかった
- (3) 普通
- (4) あまりよくなかった
- (5) 悪かった

12年度のアンケート回収率はお預かり件数497件に対し460件で、93%でした。会員のみなさまご協力ありがとうございました。

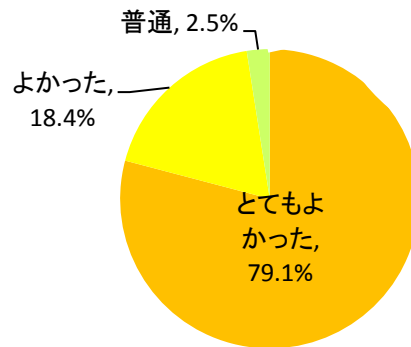
保育スタッフに対する評価は「とてもよかった」「よかった」を合わせると、96.7%となり、目標の95%を達成することができました。

会員のみなさまのご協力もあり、12年度も無事故で安心・安全の病児保育が徹底できました。保育後のアンケートは、ノーベルスタッフ、そして親御様双方で保育を振り返り、その後の安心・安全の保育につなげる大きな材料となります。ご負担を軽減できるよう、WEB上でのアンケート回答などの対応を早急に進めていく予定です。引き続きご協力をお願いします。

保育スタッフ



本部スタッフ



Voice

会員の声

100%対応

対応もすばやく助かりました。2人とも絶対に休めない状況だったのでノーベルにお願いしていて良かった！と思いました。



保育スタッフ

熱が高くて心配でしたがこまめに検温して下さり、水分も工夫して与えてくださったので、本当に良かったです。座薬を入れる判断も、夕刻に入れると夜の寝かしつけ前に使えなくなるから、元気のあるうちは使わずにいてくださったとのことでありがたかったです。



感染症OK

1日見て頂いてやはりノーベルは安心感が違うなあと思いました。大丈夫かなあと不安にもなりましたが帰宅して子どもの様子をみてこれからも仕事との両立がんばっていこうと思われました。

受診代行

急な対応でも病院に連れて行ってくださり、ちゃんとやりとりをしてくださったのが分かり安心しました。メールや電話のタイミングが分かりやすく良かったです。緊急度が分かります。



経過報告メール

メールを読んだだけで、家の様子が手に取るように分って楽しくなりました。久しぶりの利用でしたが、終始安心できました。子どもも「エプロンの先生」に会うと楽しいを覚えていたようです。



12年度は新たな試みとして、2つの社会課題に対する施策をスタートしました。いずれもノーベル単体ではなく、他団体と連携をし、それぞれの強みを持ち寄ることで、きめ細かいサポート体制を実現しました。

新規プロジェクト

日本初！保育の未開発分野 発達障がい児向け病児保育パックをリリース

近年、発達障がい児への保育の充実の必要性が叫ばれています。ノーベルでは、発達障がい・聴覚障がい・不登校などの子ども向け学習支援サービス「あすはな先生」と連携をとり、日本初となる発達障がい児向け病児保育を2012年9月よりスタートしました。

13年度は10名のお子さまをサポートする体制を整えるべく、現在の会員様のケース共有、定期的なブラッシュアップ研修を行ってまいります。

提携内容

(1) 事前審査サポート

ADHD・LD・アスペルガー症候群・自閉症など、専門的な支援を必要とする子どもに対して安心・安全に病児保育が提供できる基準であるか、書類のチェック、面談の同行など、個々の特徴・ニーズを正しく理解できるよう「あすはな先生」がサポートする。

(2) 無料・子育て相談会

年に数回、対象会員様に子育て相談会を実施する。相談員は「あすはな先生」の専門家が担当する。

(3) 保育スタッフ向け研修の実施

「あすはな先生」の専門家が保育スタッフ向けに発達障がい児に関する研修を実施する。



協働団体

●一般社団法人子ども・青少年育成支援協会「あすはな先生」

発達障がい、聴覚障がい、不登校などの特別なニーズがある小中学生を対象とした家庭教師派遣事業を2009年より実施。家庭教師、塾の講師は心理・福祉・教育分野を専門的に学び専門家を目指している学生・専門家の社会人が中心に行っている。サービス利用会員と講師にはそれぞれ専任の臨床心理士などの有資格者がコーディネーターとしてフォローしている。

あすはな先生

<http://asuhana.jp/>

Voice

あすはな先生
の声

「ノーベル様と事業提携させて頂いたことは、未就学児支援の必要性を感じていた私どもにとって学び多く、大変価値のあることです。発達障がいのあるお子様がいらっしゃるご家庭の切実なニーズに対する支援活動として、日本初の【病児保育発達障がい児パック】を通して、今後も大きな使命感とともにノーベル様と取り組んでいきたいと思っております。」

一般社団法人子ども・青少年育成支援協会
共同代表 村中直人氏

東日本大震災による県外避難中の子どもたちへ 託児サポートとイベント保育を実施

東日本大震災、原発の影響で生まれ育った地を離れ、関西に避難している人数は自主避難を含めると約6,000人を超えます。この避難家庭のほとんどが母子だけの避難となり、急激な環境の変化から、子どもたちが大きなストレスを受け、母親たちも常に過度の不安とストレスを受けています。

そんな状況に対して、相談支援事業を行うNPO法人み・らいずと連携し、ノーベルの専門分野である保育サポートを12年4月～13年3月までの間、毎月2回実施しました。

提携内容

①おちゃべり会中の託児サポート

毎月1回、NPO法人み・らいずで開催されている、避難ママ達のための交流会中の託児を行いました。小麦粉粘土やお魚釣りするなど、ノーベルの保育スタッフが子どもたちの年齢にあった遊びを考え、実施しました。

②なんばパークスaura(アウラ)にて託児サポート

毎月1回、関西に避難している親子を対象に、なんばパークス5Fにあるキッズスペースaura(アウラ)にて、イベント保育を実施。auraの明るいスペース内で、晴れた日には屋外の遊具スペースでのびのびと過ごせる時間となりました。



▲小麦粉粘土あそび

▲チエンリングでままごとあそび

協働団体

●NPO法人み・らいず

障害のある人、発達障害や不登校や引きこもりの子どもたち、高齢者、すべての人々が地域社会においてあたりまえの生活を送ることのできる新たな福祉社会の創造に取り組んでいる団体。東日本大震災により県外避難中の子どもたちへの相談支援や宮城県石巻市で、中学生、高校生の子どもの居場所づくりを実施している。

Voice

参加者の声

娘はとっても楽しかったらしく、「おねえちゃんとおままごとしててん、たのしかったあ！！」と、楽しそうにわらいながら話してくれました。



子どもと一緒に食事、それもレストランで避難ママ同士でお話しながら、ゆっくりと落ち着いてランチできるなんて！！夢のようなひと時でした。本当にありがとうございました。心に栄養補給できました。



父親がこちらに来ている時にたま～に子供を預けることがあるのですが、子供と接し慣れていない父親が長時間子供と過ごすって大丈夫かな？と心配になったり、家族一緒の時間がとても貴重なのにその時間を割いて自分の時間を作ることに罪悪感があったのですが、ノーベルスタッフさんはプロですし、そんな心配も罪悪感もなく、自分の時間を過ごすことにあまり心の負担がなく、それもリフレッシュできた大きな理由だったと思います。

社会の価値観を変える！
新プロジェクト始動

子どもの病気を乗り越えるノウハウ満載 「働く!!おかん図鑑」発売



6人のおかんタイプ別乗り越え方
笑えてタメになるノウハウ集



100名以上の先輩おかの声がギュッ
電通おかんクリエイティブチームが制作！
“おかん”による“おかん”のための1冊

おかんカンパニー



NPOと企業の協働事業を表彰する
日本パートナーシップ賞受賞



メディア掲載

新聞8回、テレビ2回、ラジオ4回他
年間計29回取り上げられました

4月毎日新聞、6月朝日新聞をはじめとしたマスメディアに加え、今年地域フリーペーパーやWEBサイト、自治体が発行している事例集などで多く取り上げられました。



じいじばあば・ママ友・同僚 行政・企業からの購入が続々と

今まさに！子どもをもって初めて働き始め
2週間に一度の熱で、身も心もクタクタなところに素晴らしい1冊！

私が知りたいことが見事にわかりやすく、そして楽しく

何より適量なページで（じっくりと読む時間さえない日々でして…汗）
本当に今までになりにありがたい1冊の本に出会うことができました。



私たちは**保育士集団**です！
この冊子を購入して、
働くおかんを支えたい！です！

まもなく復職ですが、会社で同じ境遇の人が全然いないので、
**周りからの理解を全く得られそうになく、
非常に不安です。**

乗り切る知恵が満載ということで参考にします。



会社で人事をしています、
**長く楽しく働き続けられる環境
や制度作りの参考に、**
また自分自身の今後の子育てのために購入しました



働きながら3人の子育てをする**娘に読ませたいです。**
いつも3人が順番に病気になり大変ですが遠方なのですぐに行ってやれません。

1年で販売冊数 1500冊突破！

2013年秋以降 育休復帰者向け ワークショップ開催決定！

講演実績

子育て支援・社会起業・ワークライフバランス 多様なテーマで年間17回の講演に登壇

2012年度は「働く!!おかん図鑑」を発行したことから
子育てと仕事の両立ノウハウを考え共有するワークショップが増えました。
〈ワークショップ例〉

【企業向け】テーマ：「部下が妊娠したら...復帰後はどんなことが」

【個人向け】テーマ：「求職中や復帰前の保護者向け、両立ノウハウを伝授！」



設立3周年を迎え、スタッフ数も22名まで増加しました。「子どもを産んでも当たり前働き続けられる社会」というビジョンを掲げる私たち自身が、家庭と仕事の両立をしやすい職場づくりをするため、環境整備を行った1年でした。

強い組織づくり

ノーベル3年目突入！組織拡大にあたり スタッフの行動指針を明文化

「助け合いプロジェクト」と題して、企業のワークライフバランスコンサルティングを行うNPO法人ArrowArrowの堀江氏を迎え、ノーベルのスタッフとして在るべき姿、行動指針を作成しました。今後もスタッフ同士で切磋琢磨し「安心・安全の病児保育」を徹底していきたいと思えます。



大切な行動指針

1. 責任感がある：目的達成の為に仕事が遂行できるよう行動すること
2. 自律的に行動できる：自ら解決策を提示し、タスクのこなし方を変更できること
3. 助け合うことが当たり前ができる：誰かが困っている時は率先して手を差し伸べる
自分が困っている時は抱え込まずに助けを呼べるということ

人事制度の整備

働きやすく、成果も出る組織に オリジナル制度をスタート

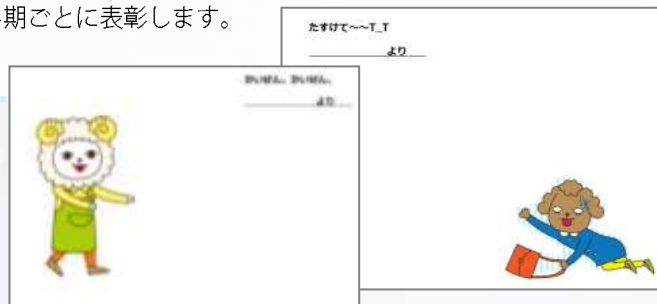
上記でご紹介した行動指針を「意識」するだけでなく「実践」できるよう、【ジリツツァー制度】を開設。「言われたこと」をするだけでなく、業務の目的や改善策を常に考えながら、行動し成果を出すことを目指します。一人ひとりの業務の質を向上し、「安心・安全の病児保育の徹底」へ繋げてまいります。

ジリツツァー制度とは

ジリツツァーボードと呼ぶホワイトボードに、下記2種のカードにスタッフは日々書き込みます。

- ★業務で困ることを書き込む「たすけて〜な〜カード」
- ★困ることに対して改善策を書き込む「かいぜな〜カード」

書き込み数の多かったスタッフに「カイゼナー賞」
質の高い改善案を提示できたスタッフに「ジリツツァー賞」を
四半期ごとに表彰します。



受賞

家庭と仕事の両立を支援する職場 大阪市きらめき企業賞受賞

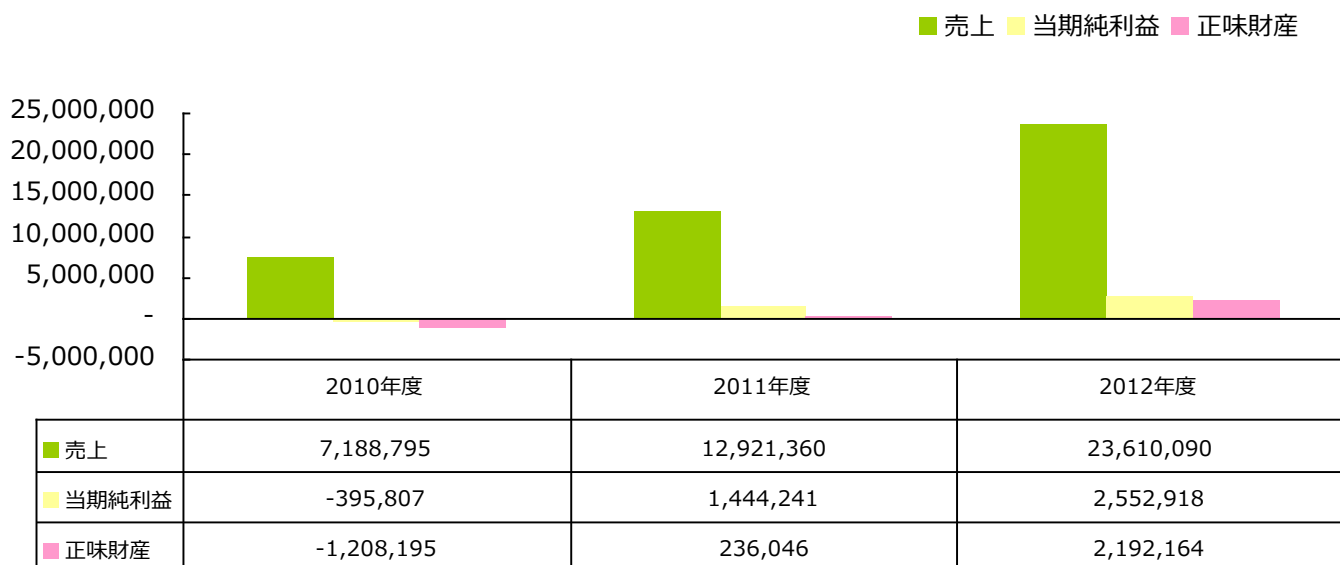
男女共同参画の一環として、効果的な取組みを進めている大阪市内の中小企業等を表彰している「きらめき企業賞」。橋下大阪市長直々に表彰状をいただきました。

受賞ポイント

1. 全スタッフのタスクを「見える化」
各事業部・全スタッフのタスクに緊急度・重要度を加えたリストを作成し、誰もがみれる状態にし、業務の効率化、助け合いを図っている
2. 1タスク2パーソンズ制
1つの業務を2人が担当、突発休などの際に補助できる仕組みに
3. 在宅勤務制度
担当業種によって、積極的に在宅勤務を導入している



【2010年度～2012年度の収入／当期純利益／正味財産】



【2012年度 活動計算書】

科目	金額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1. 受取寄付金			1,991,091
2. 受取り助成金等			2,252,707
3. 事業収益			
病児保育事業収益	17,473,199		
県外避難支援事業収益	1,000,000		
ソーシャルプロモーション事業収益	818,997	19,292,196	
4. その他収益			
受取利息	1,267		
雑収入	72,829	74,096	
経常収益計			23,610,090
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	13,456,471		
(2) その他経費	5,300,922	18,757,393	
2. 管理費			
(1) 人件費	1,480,961		
(2) その他経費	818,818	2,299,779	
経常費用計			21,057,172
当期経常増加額			2,552,918
法人税等			596,800
当期正味財産増加額			1,956,118
前期繰越正味財産額			236,046
次期繰越正味財産			2,192,164

ひとり親向け 寄付で支える病児保育支援 ひとりおかんっ子応援団プロジェクト



準備段階

「病児保育を利用したいけれど経済的な理由で利用できない」そのようなお声をノーベル開始から何度もいただいてきました。ひとり親家庭の場合は頼れる人もおらず、その状況は深刻です。「ひとり親の方々を対象として安価に病児保育サポートを行いたい」そんな想いで、『ひとり親向け病児保育開発プロジェクト』と題し、2012年4月から寄付集めを開始。結果、準備資金として、1年間で**総勢180名の方から1,991,091円のご寄付をいただきました。**ご寄付くださったみなさま、ありがとうございました！！

プロジェクト開始

皆さまのご協力により、2013年4月より、寄付で支える病児保育支援、「ひとりおかんっ子応援団プロジェクト」をスタート

子どもはすぐ、病気をするもの。
しかし、当たり前のことが、失職や生活苦に直結してしまう。
大阪のひとりおかんっ子は、そんな社会に生きています。

「社会みんなで子育てをする世の中へ」
そんな想いを込めて、
『ひとりおかんっ子応援団プロジェクト』
と名付けました。

ひとりおかんっ子を救え。
病児保育支援

子どもの急病時に、親にかわり保育スタッフが子どもをケアする「病児保育サポート」。このサポートを、ひとり親家庭に低価格で提供し、急病時にいつでも利用できるようにすることで、

- 1) 子どもの急病時でも仕事をつづけられる安心感
- 2) ひとり親家庭の就労・経済的自立の支援
- 3) 子どもに貧困が引き継がれる連鎖の断ち切り

この3つを叶えていくプロジェクトです。
一度きりの支援でなく、継続的に支援していくため、その財源を寄付制度で支えています。

お願い、
病気に
ならないで！

今日休むと
クビになるのに、
子どもを預ける人も
余裕もない...

こんな時代に
すくすく育つことも
学ぶ機会を持つことも
ままならない、
**ひとりおかんっ子を
救え。**

ひとり親家庭の子どもを危機から守るプロジェクト
ひとりおかんっ子応援団
病児保育 NPO 法人 ノーベル

▲プロジェクトのリーフレット表紙

プロジェクトの仕組み

寄付を財源に、平均8,000円を
月1,050円でひとり親世帯へ提供

1世帯に約8,000円/月の運営費がかかる病児保育を、皆さまからのご寄付を財源に、ひとり親家庭には月1,050円で提供します。支援を受ける期間は最長2年。経済的自立を築いてもらうための2年でもあります。



この度「ひとりおかんっ子パック」のご連絡いただきましてありがとうございます。
精神的にも経済的にも、大変助かります。

今の私は、自分の事だけで精一杯な状況の中にいます。
それでも皆さまのバックアップがあるお陰で、我が子を含む自分の周囲にたいして、
心配りできる余裕がでてきたようにおもいます。ほんの少しではあるのですが…

あとは、私自身が頑張って収入をあげて、
次のひとり親のかたに「ひとりおかんっ子パック」のバトンタッチができるようになれば…と思います。

今度は私たちが、支える番。

大阪のひとり親家庭は7万余り。

その半数は、働いても、生活が安定しない非正規雇用です。
近くに頼れる協力者がいない家庭も多く、ひとり親に負担を強いる社会の仕組みが、
虐待を起こす一因になっていることも報告されています。

親の都合でひとり親になった家庭もあるでしょう。
しかし子どもには、健やかに育つ環境と、人並みの選択肢がある社会であるべきです。

子どもが病気をするのは当たり前のこと。強い体をつくるためには必要なこと。
それは私たち大人の誰しものが、通ってきた道。
子どもが病気をしても、ひとり親が安心して働けたら、防げることが、たくさんあります。

皆さまの支えを、どうぞよろしく願いいたします。

ご支援の方法

ひとりおかんっ子応援団となり、継続的にご寄付で支援いただける制度です。ご寄付の金額を3種類から選べます。
(ご無理のない範囲でお願いします)。応援団員になられた方には「応援団員キット」が届きます。

会員の種類

ペンギん団員	1,000円/月	応援団7人で、 ひとり親家庭1世帯をサポートできます。	【応援団キット】 ●応援団員カード ●応援団メールマガジン(配信)
ぱんだ団員	3,500円/月	応援団2人で、 ひとり親家庭1世帯をサポートできます。	【応援団キット】 ●応援団員カード ●応援団メールマガジン(配信) ●子育てと仕事の両立事例冊子「働く!!おかん図鑑」 ●活動報告書
しろくま団員	7,000円/月	応援団1人で、 ひとり親家庭1世帯をサポートできます。	【応援団キット】 ●応援団員カード ●応援団メールマガジン(配信) ●子育てと仕事の両立事例冊子「働く!!おかん図鑑」 ●活動報告書 ●ひとりおかんっ子家庭からのお手紙

お支払方法

クレジットカード

または

銀行口座振替え

*利用できるクレジットカードはVISA、MasterCardの2種類となります。ご了承ください。

お申込方法

ノーベルホームページ
<http://nponobel.jp>

または

お電話
06-6940-4130

もっと
気軽に
寄付
したい!

読み終わった本やCDなどを送ると買取額が寄付になる「チャリボン」

申込みの流れ

- <1> 読み終えた本やCD、DVD、ゲームなどをまとめる(5冊以上なら送料無料!)
- <2> チャリボンホームページにアクセスし、WEBフォームより申込み(集荷日時の指定)もしくは右記電話番号にダイヤルし、電話申込みもOK!
- <3> ヤマト運輸の集荷を待つだけ!

charibon.

<http://www.charibon.jp/>

☎ 0120-826-295

病児保育事業部

【ミッション】

無事故を守り 安心・安全の病児保育を徹底する

【目標】

- WEBオンライン化により入会時の情報入力や保育、保育後のシート送付等に関する会員様の負担を軽減し、また内部業務の効率化を図る
- 研修コンテンツを充実させ、保育スタッフには保育の質の均一化、また本部スタッフには保育サポート体制及び社内業務におけるスキルアップを図る

広報部

【ミッション】

ひとりでも多くの人にノーベルを知ってもらう

【目標】

- 利用希望問合せ数 12年度の2倍
- メディア掲載 年間25回 講演登壇 年間15回
- 「働く!!おかん図鑑」のコンテンツを元に育休復帰者向けワークショップを開催

WEBコンテンツの充実、チラシ配布等などを行い、ノーベルを知らずに困っている親御さんを減らせるよう取組みます。

ファンドレイジング事業部

【ミッション】

受益者だけでは担えない世帯に対して病児保育を提供できるように寄付を集める

【目標】

- 50人のひとりおかんっ子をサポートする

「社会全体で子育てを！」できる仕組みを実現し、子どもが熱を出すという当たり前の事が起こっても、安心して働ける親御さんを一人でも多く増やします。

経営戦略室

【ミッション】

中長期的な方針や計画を作成し、各事業部に落としこむ（常に助け合い・社会変革の仕組みを作ることが前提）

【目標】

- 新法人パッケージのリリース
 - 大阪市内各区への子育て支援における政策提言
 - IT化プロジェクトの実施と完了
- 全業務を顧客管理システムであるsalesforceで管理できるよう構築し、マーケティングの強化・業務の効率化を目指す

管理本部

【ミッション】

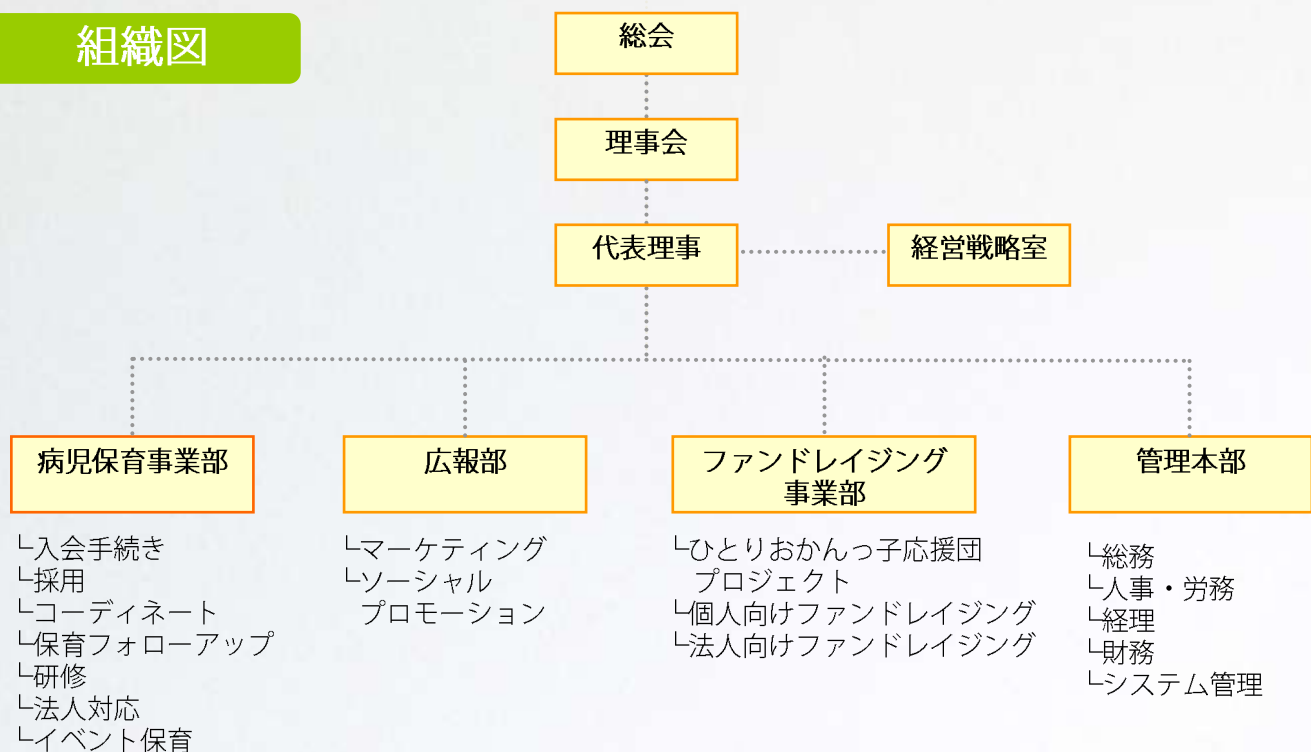
各事業部・スタッフが働きやすい環境を作り、透明性のある組織をつくる

【目標】

- 仮認定NPOの取得と認定NPO取得に向けての体制構築
- 産育休・復帰後マニュアルの完成

[団体名]	特定非営利活動(NPO) 法人 ノーベル
[所在地]	〒530-0042 大阪市北区天満橋3-3-5 天満インキュベーションラボ302
[電話番号]	06-6940-4130
[代表]	高 亜希 一般財団法人日本病児保育協会理事
[ホームページ]	http://nponobel.jp [e-mail] info@nponobel.jp
[事業内容]	訪問型・地域密着型病児保育事業
[従業員数]	本部スタッフ10名・保育スタッフ12名・ボランティア13名
[沿革]	
2009年11月10日	法人設立
2010年2月1日	大阪府中央区・西区にてサービス開始
2010年4月1日	株式会社JTBベネフィットと法人提携
2010年7月1日	サービスエリアを6区に拡大（北・福島・城東・天王寺を追加）
2010年12月1日	サービスエリアを13区に拡大（此花・都島・旭・平野・住吉・東住吉・生野を追加）
2011年2月1日	株式会社ベアーズと法人提携
2011年4月1日	サービスエリア18区に拡大（港・浪速・淀川・東成・鶴見を追加）
2011年4月1日	株式会社イーウェルと法人提携
2011年6月1日	株式会社ベネフィット・ワンと法人提携
2011年8月10日	京阪電気鉄道株式会社と京阪電鉄不動産株式会社と マンション「ファインシティ大阪城公園」にて病児保育のアフェリエイト契約を提携
2012年2月1日	サービスエリアを大阪府内全域24区に拡大（阿倍野・住之江・西淀川・東淀川・大正・西成を追加）
2012年5月13日	「働く!!おかん図鑑」発行
2012年9月1日	発達障がい児パックリリース
2013年1月4日	サービスエリアを大阪府外へ拡大（吹田市南部を追加）
2013年2月13日	大阪市きらめき企業賞 受賞
2013年4月8日	ひとりおかんっ子応援団プロジェクト スタート
2013年6月1日	ひとりおかんっ子パックリリース

組織図



子どもを産んでも、
当たり前に関わりつづけられる社会が、きっと来る。
きっと叶えてみせる。



特定非営利活動（NPO）法人ノーベル

[所在地] 〒530-0042 大阪市北区天満橋3-3-5 天満インキュベーションラボ302
[電話番号] 06-6940-4130
[代表] 高 亜希 一般財団法人日本病児保育協会理事
[ホームページ] <http://nponobel.jp> [e-mail] info@nponobel.jp